

希望に輝く地域づくり

みやこ構想

京都府では、京都府域の北から南まで、すべての地域が活力ある「みやこ」として輝くことができる地域づくりを進めるため、中期計画及び地域振興計画の主要プロジェクトとして、15の「みやこ構想」を位置づけ、推進した。

以下に、みやこ構想に関連する指標の状況を示す。

※「指数」は、基準値（原則2011年度の数値）を1として、2018年度の数値を割戻して指数化したもの

※「分野」は、各地域振興計画の施策の基本方向から主な分野をカテゴリー化したもの

（観光誘客／ものづくり振興／商流・物流拡大／価値創出（商品・コンテンツ開発）／人材育成／地域ブランド化／地域交流／自然・環境・文化）

○みやこ構想の指標

1 丹後・食の王国構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
「丹後あじわい食」提供店数	25事業者 (春の丹後ばらずし月間)	72事業者 (丹後ばらずし、丹後あじわい食と地酒、長寿弁当・御膳)	2.88	観光誘客
「丹後あじわい食」のメニュー数	25メニュー (春の丹後ばらずし月間)	84メニュー (丹後ばらずし、丹後あじわい食と地酒、長寿弁当・御膳)	3.36	観光誘客
着地型旅行商品の参加者数（年間）	700人	19,038人	27.20	観光誘客
食品関連企業の立地件数	食料品製造業35事業所 (2010年12月31日現在、従業員4人以上) 食品衛生許可施設3,024施設、うち製造業494施設	食料品製造業33事業種 (2019年3月31日現在、従業員4人以上) 食品衛生許可施設2,993施設、うち製造業610施設	1.23	ものづくり振興

2 日本海観光構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
観光入込客数 (丹後＋舞鶴市)	約678万人 (2011年1月～12月)	約817万人 (2018年1月～12月)	1.21	観光誘客
外国人宿泊客数 (丹後＋舞鶴市)	約1万1千人 (2011年1月～12月)	約6万3千人 (2018年1月～12月)	5.73	観光誘客
観光消費額 (丹後＋舞鶴市)	約185億円 (2011年1月～12月)	約217億円 (2018年1月～12月)	1.17	観光誘客
クルーズ船の寄港数 (国外・国内) (年間)	4回	25回	6.25	観光誘客

3 京都舞鶴港ランドブリッジ構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
国際フェリー航路数	なし	日韓露航路週1便	2.99	商流・物流拡大
国際海上コンテナ 航路数	中国航路週1便 韓国航路週1便	中国航路週1便 韓国航路週2便	1.50	商流・物流拡大
クルーズ船の寄港数 (年間)	外国船 なし 国内船 4回	外国船21回 国内船2回	5.75	観光誘客
コンテナ取扱量 (年間)	8,441TEU (うち実入り 5,902TEU)	18,623TEU (うち実入り 13,326TEU)	2.21	商流・物流拡大
貿易取扱量 (年間)	1,092万6千トン	1,082万4千トン	0.99	商流・物流拡大

4 北京都ものづくり拠点構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
製造品出荷額等 (中丹地域)	497,410百万円 (2010年)	613,259百万円 (2018年工業統計 速報値)	—	ものづくり振興
付加価値率 (従業員4人以上)	47.1% (2010年)	41.0% (2018年工業統計 速報値)	—	価値創出(商品・コンテンツ開発)
生産工学(IE)研修等の参加者数 (年間)	3,311人	3,629人	1.10	人材育成
地域連携ものづくり新製品開発数 (年間)	5件	2件	0.40	価値創出(商品・コンテンツ開発)
中小ものづくり企業と進出大企業等とのマッチング件数 (年間)	0件	1件	2.99	ものづくり振興

5 由良川里山回廊構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
スポーツトレイル (SEA TO SUMMIT) の参加者数 (年間)	3,077人 (2015年度)	—	—	観光誘客
U・I・Jターン 等による定住者数 (年間)	62人	167人	2.69	地域交流
モデルフォレスト 運動への参加者数 (年間)	337人	589人	1.75	自然・環境・文化
ふるさと保全活動 への参加者数 (年間)	1,029人	938人	0.91	地域交流
地域食材を活用・ 提供する農家民宿 数	9軒	34軒	3.78	観光誘客 地域交流

6 京都丹波「食と森の交流の都」構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
教育体験旅行の年間受入数（年間）	5校 340人	70団体 4,348人	12.79	地域交流 観光誘客
教育体験旅行の受入れ農家・団体数	20	226	11.30	地域交流 観光誘客
農家民宿開設数	4軒	29軒	7.25	地域交流 観光誘客

7 新京都伝統工芸ビレッジ構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
京都新光悦村立地企業数	5件	13件	2.60	ものづくり振興
京都新光悦村等に滞在し作品制作を行う作家、民間デザイナー等の人数（年間）	3人	3人	1.00	人材育成
京都新光悦村を訪れる交流人口（年間）	14,000人	25,842人	1.85	地域交流

8 北山文化環境ゾーン構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
府立植物園入園者数（年間）	702,011人	801,408人	1.14	自然・環境・文化 観光誘客
総合資料館、植物園等における府民向けイベント・シンポジウム・公開講座等の開催回数（年間）	191回	269回	1.41	自然・環境・文化

9 京都クロスメディアパーク構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
京都発企画の映画・映像事業化支援件数（年間）	5件	12件	2.40	価値創出（商品・コンテンツ開発）
京都クロスメディア・クリエイティブセンター（KCC）等で活動する若手クリエイター数（年間）	42人	100人	2.38	人材育成
「KYOTO CMEX」の参加者数（年間）	77,179人	122,172人	1.58	観光誘客 地域ブランド化
子ども対象の府民向けワークショップ等の参加者数（年間）	305人	1,113人	3.65	人材育成

10 知恵産業首都構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
「知恵の経営」実践モデル企業認証数（累計）	73件	215件	2.95	地域ブランド化 価値創出（商品・コンテンツ開発）
「Kyoto Japan」ロゴマーク活用事業所数（累計）	0件	235件	2.99	地域ブランド化
元気印認定企業数（累計）	105件	307件	2.92	地域ブランド化 価値創出（商品・コンテンツ開発）
経営革新承認企業数（累計）	500件	749件	1.50	地域ブランド化

11 京都乙訓ダイナミックシティーズ構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
地域内総生産 (GRP)	5,692億円 (2011年度)	5,166億円 (2015年度推計)	—	価値創出(商品・コンテンツ開発)
製造品出荷額	5,280億円 (2013年1月～12月)	4,761億円 (2016年確報)	—	ものづくり振興
「竹」関連プロジェクト参加者数 (年間)	0人 (2014年度)	23人	2.99	地域ブランド化
多目的型の新しい ツーリズム参加者 数(年間)	172人	40人 (ツーリズム造成者等の 対象ツアー参加者数)	0.23	観光誘客
観光入込客数	1,963,318人 (2014年1月～12月)	2,199,594人 (2018年1月～12月)	1.12	観光誘客
一人当たりの観光 消費額	379円 (2014年1月～12月)	380円 (2018年1月～12月)	1.00	観光誘客
鉄道乗車人員数 (10駅の1日当たり 乗車人員の合計)	85,769人 (2013年度)	95,537人 (2017年度)	—	地域交流

12 宇治茶の郷づくり構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
茶生産額(年間)	70億円	77億円	1.10	地域ブランド化
宇治茶PRイベント への集客数 (年間)	8,203人	39,870人	4.86	地域ブランド化 観光誘客
「宇治茶の郷メー ルマガジン」の登 録者数	0人	631人	2.99	地域ブランド化

13 京都イノベーションベルト構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
企業の新規立地件数	21件	16件	0.76	ものづくり振興
製造品出荷額等 (京都市・山城地域) (年間)	40,958億円	46,310億円	—	ものづくり振興
付加価値率 (従業員4人以上) (京都市・山城地域)	39.9%	0.379	—	価値創出(商品・コンテンツ開発)

14 学術研究・未来の都構想

指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
研究機関及び研究開発型企業の立地件数	60件	86件	1.43	価値創出(商品・コンテンツ開発)
海外のサイエンスパークとの交流活動回数(年間)	10回	17回	1.70	価値創出(商品・コンテンツ開発)
太陽光発電設置数	74件	254件	3.43	自然・環境・文化
HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)やBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)の機器設置数	51件	231件	4.53	自然・環境・文化
電気自動車導入数	60台	100台	1.67	自然・環境・文化

15 環境・アグリバイオパーク構想

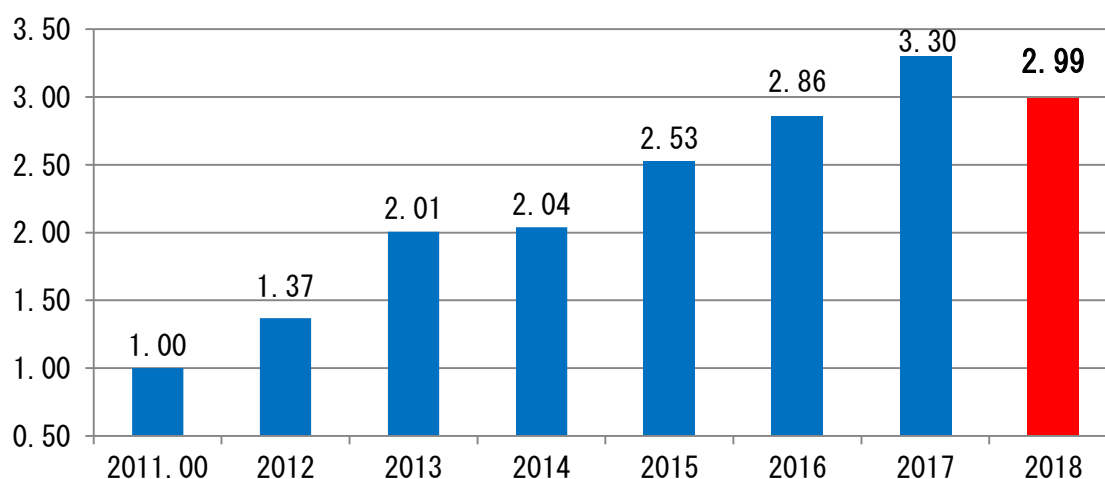
指標	基準値 (2011年度末数値)	現状数値 (2018年度末数値)	指数	分野
アグリバイオ関連 研究機関及び研究 開発型産業施設の 立地件数（府域）	5件	10件	2.00	価値創出(商 品・コンテン ツ開発)
次世代型植物工場 等における新製 品・新技術等開発 件数（年間）	0件	2件	2.99	価値創出(商 品・コンテン ツ開発)
関連分野の研究者数 （年間）	21人	19人	0.90	人材育成

○みやこ構想の指標の状況

<2018年度の状況>

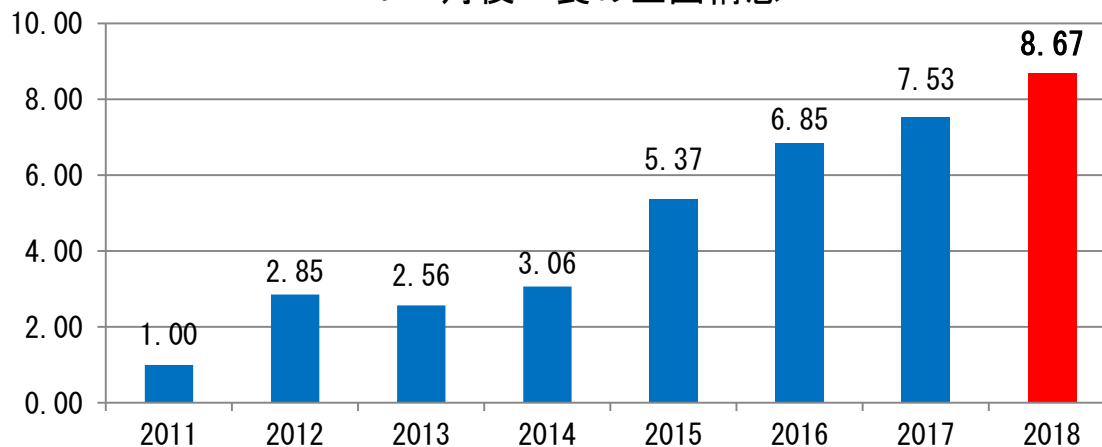
- ・「全体」では指数が2.99と、前年度から0.31ポイント下降
- ・「構想別」では、9構想で指数が上昇し、5構想が下降、1構想は前年度並

みやこ構想全体の指標の状況

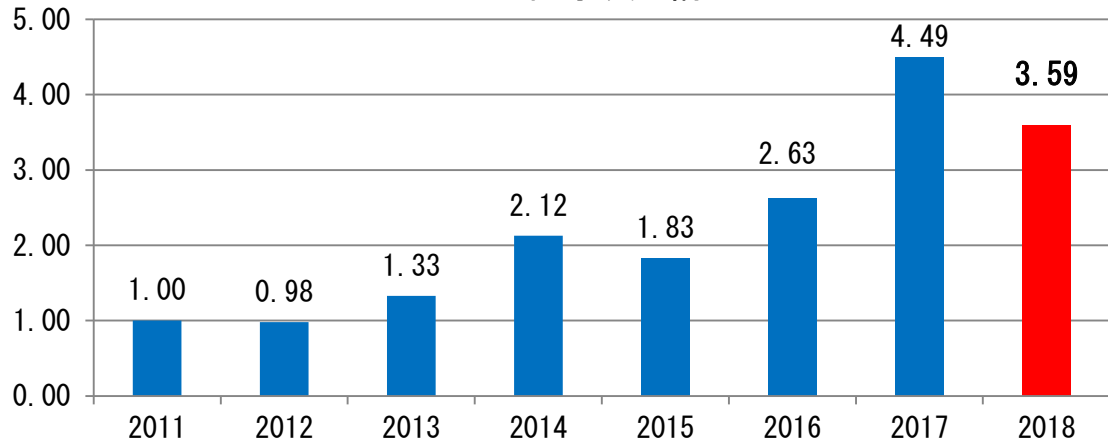


各構想の指標の状況

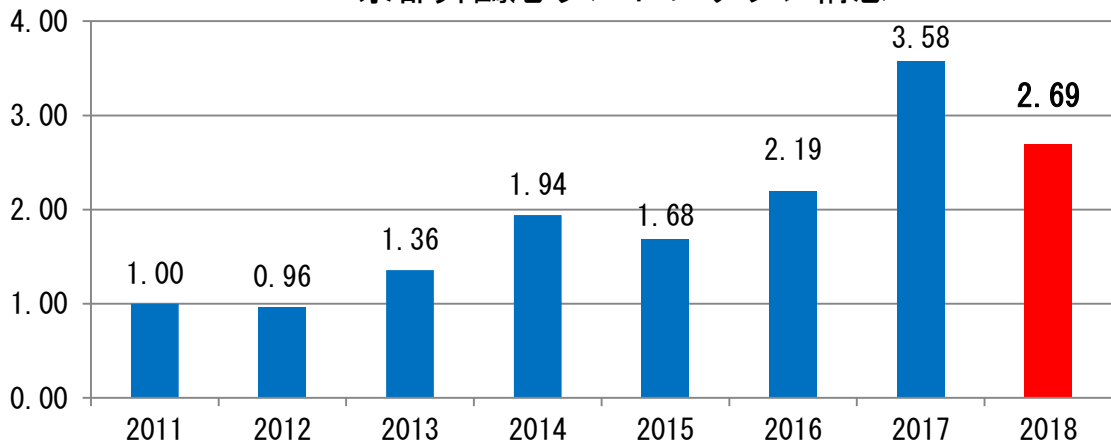
1 丹後・食の王国構想



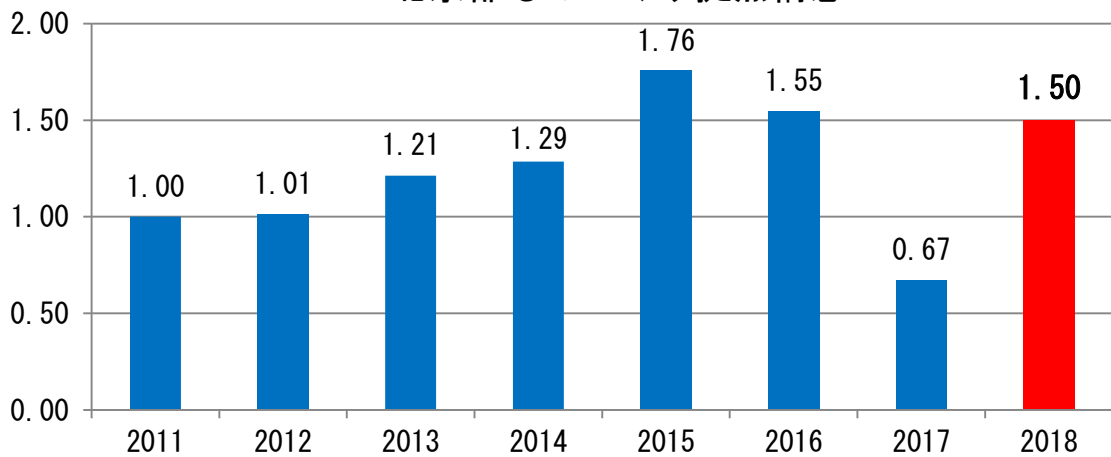
2 日本海観光構想



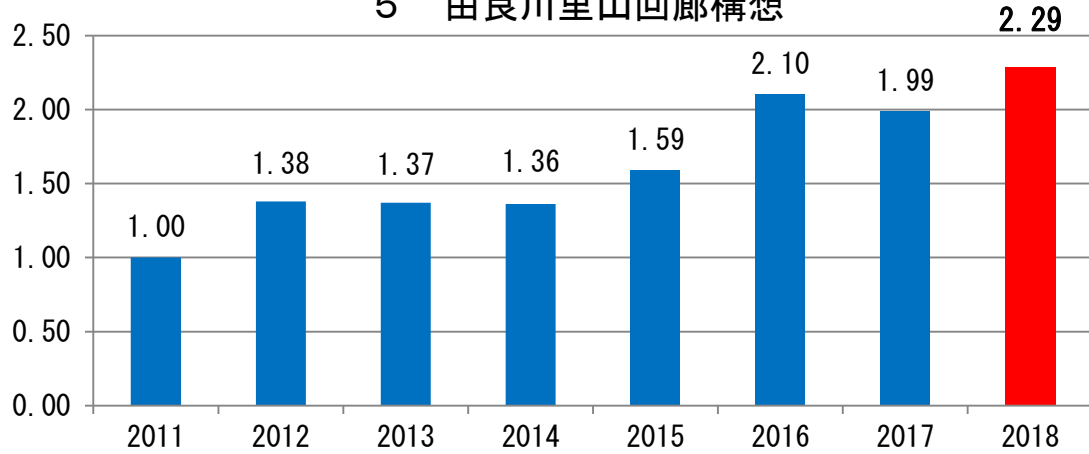
3 京都舞鶴港ランドブリッジ構想



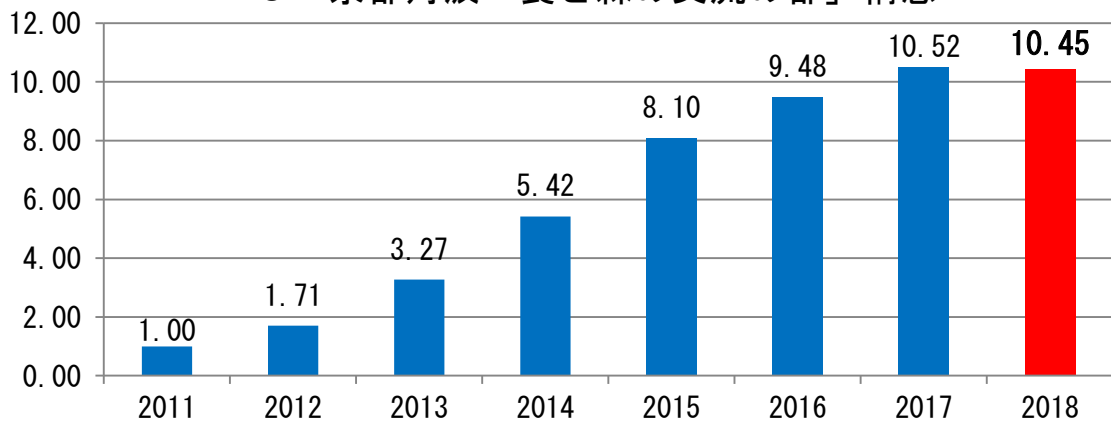
4 北京都ものづくり拠点構想



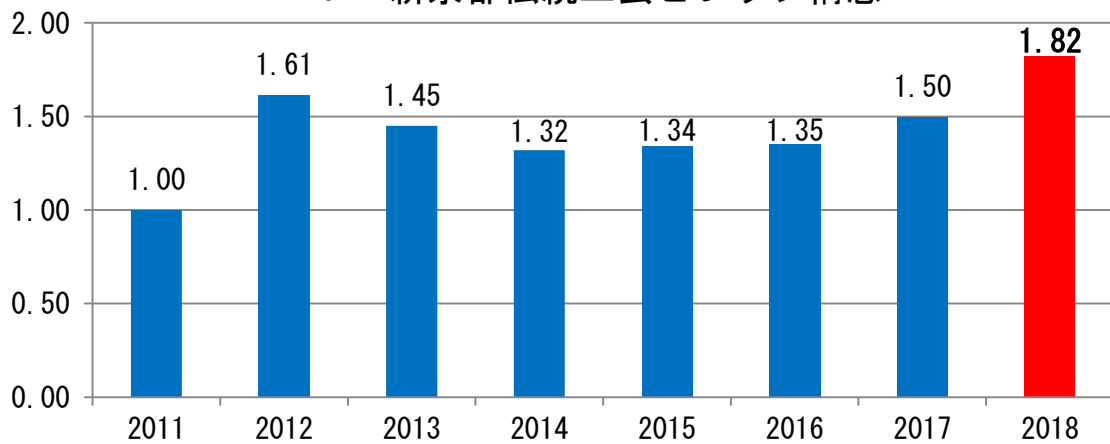
5 由良川里山回廊構想



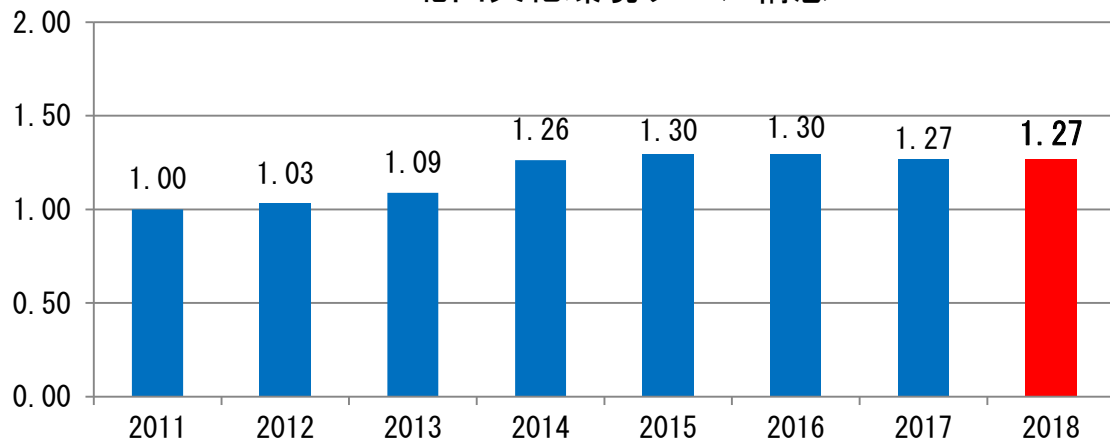
6 京都丹波「食と森の交流の都」構想



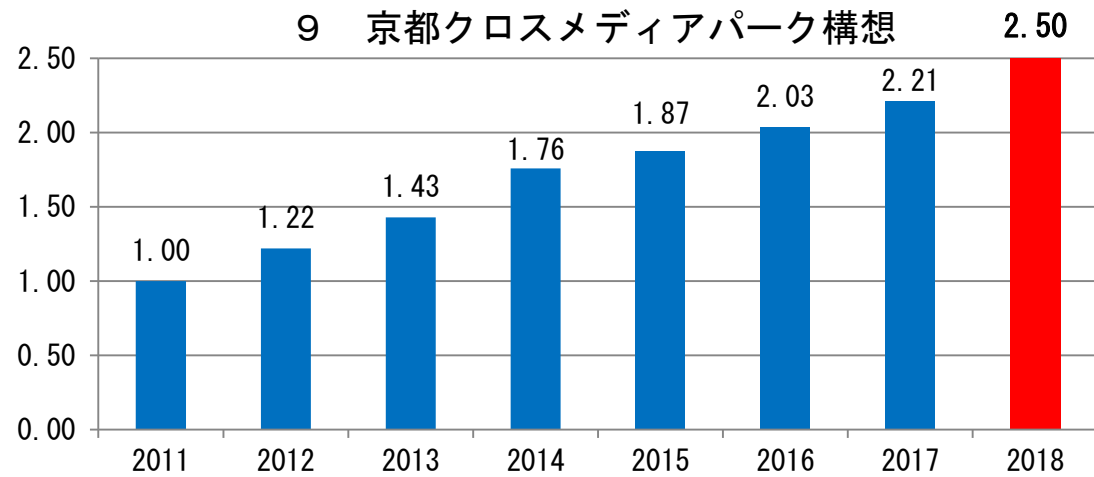
7 新京都伝統工芸ビレッジ構想



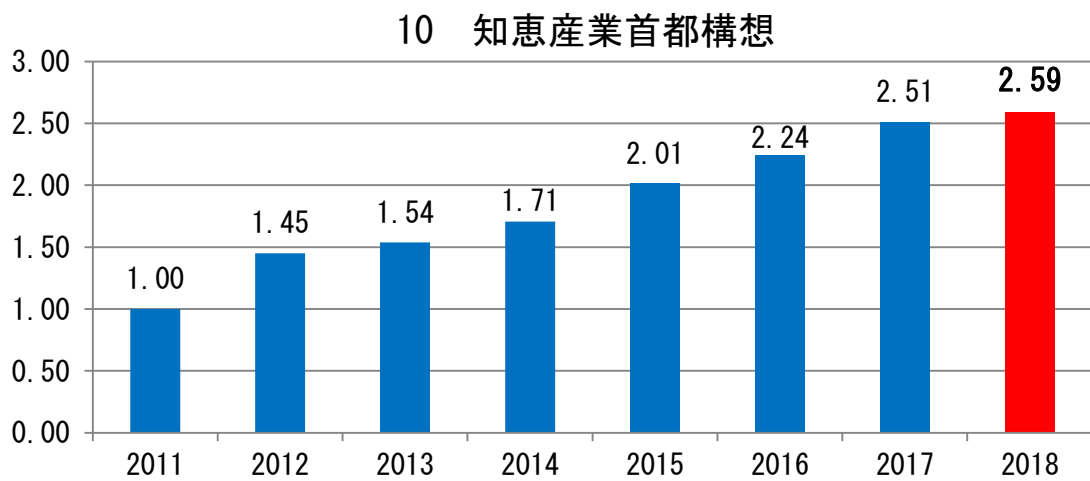
8 北山文化環境ゾーン構想



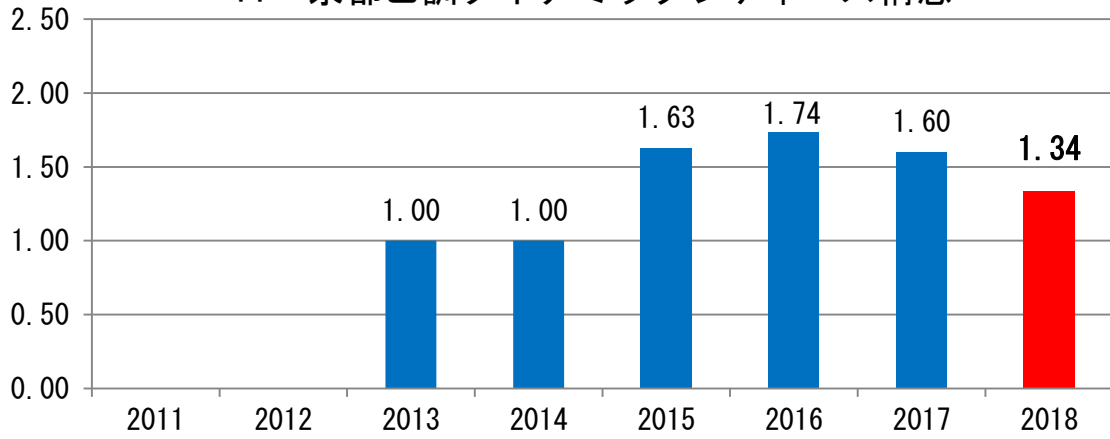
9 京都クロスメディアパーク構想



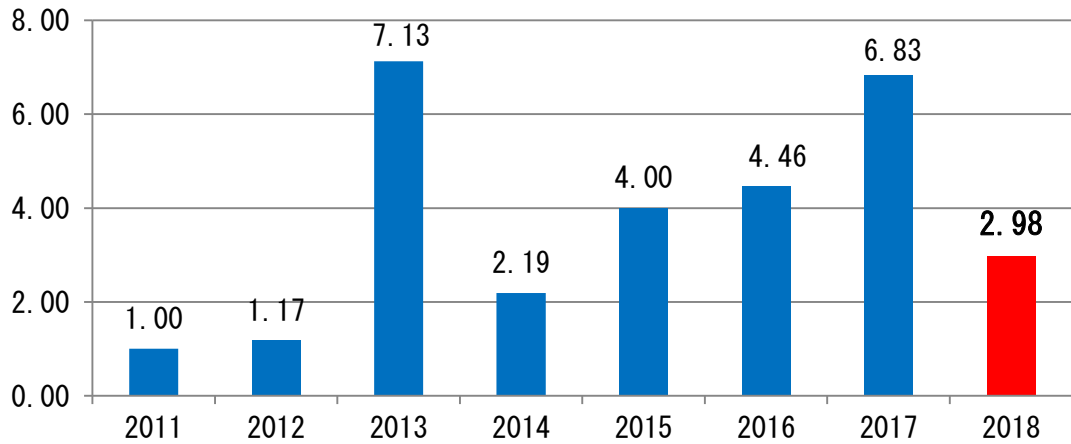
10 知恵産業首都構想



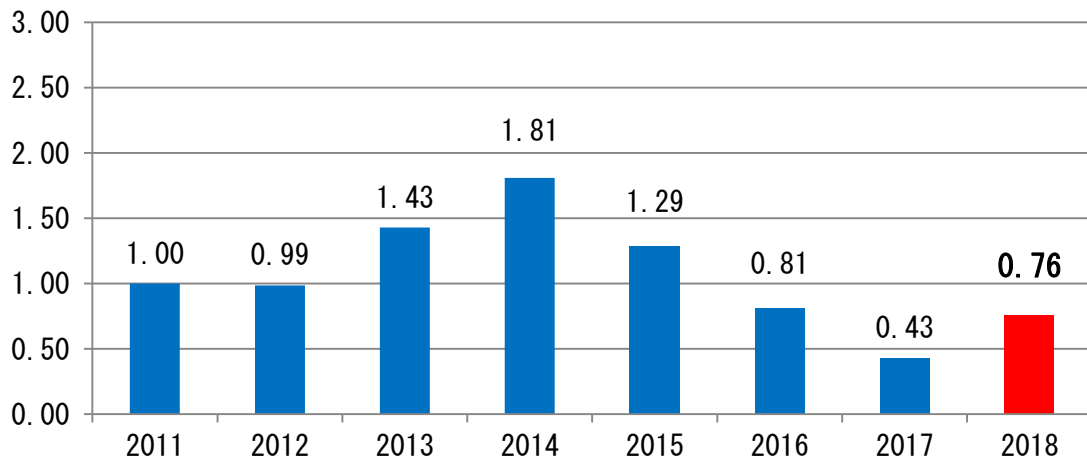
11 京都乙訓ダイナミックシティーズ構想



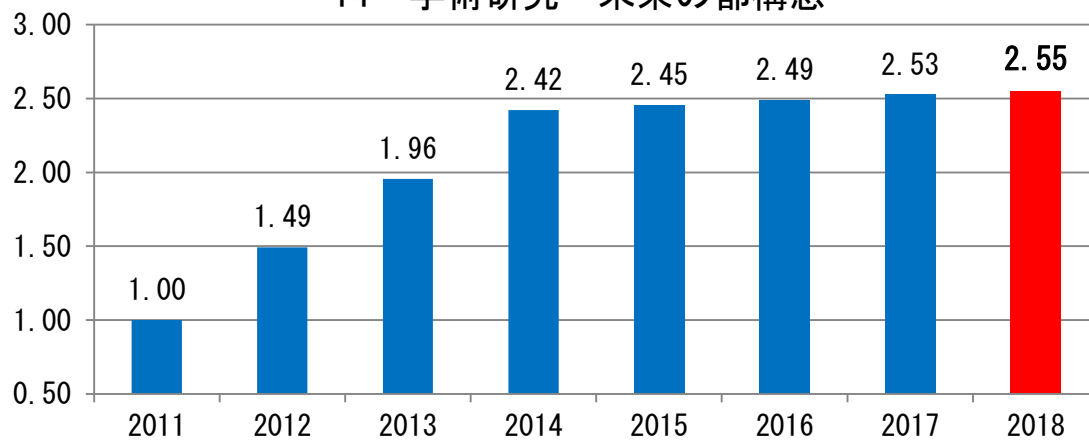
12 宇治茶の郷づくり構想



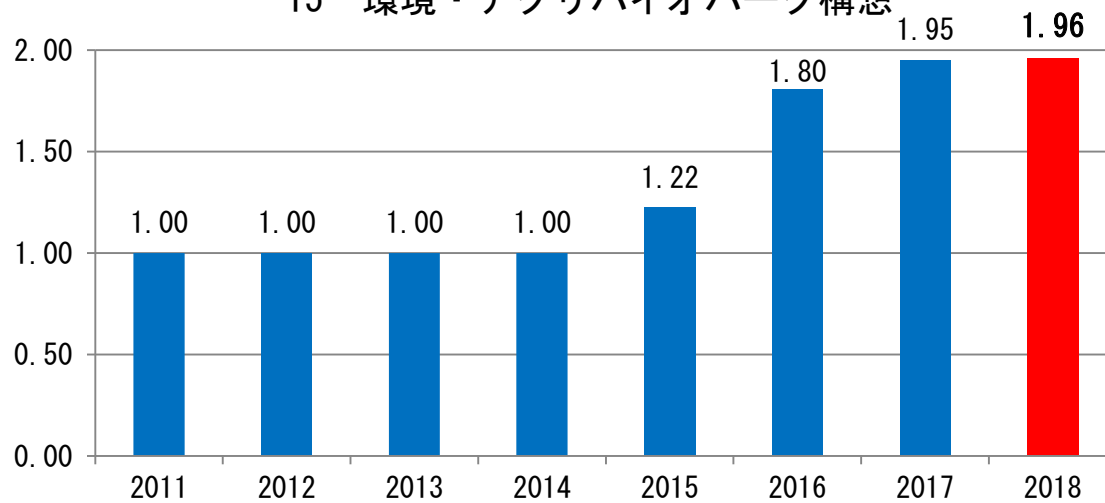
13 京都イノベーションベルト構想



14 学術研究・未来の都構想



15 環境・アグリバイオパーク構想



3つの京都プロジェクト

京都府では、中期計画及び地域振興計画の主要プロジェクトである「みやこ構想」の進展を踏まえ、広域的に地域のコンセプトを明確にした「海の京都」、「森の京都」、「お茶の京都」づくりの3つの京都プロジェクトを推進し、府域の均衡ある発展のためのスケールの大きな交流を展開することとしている。

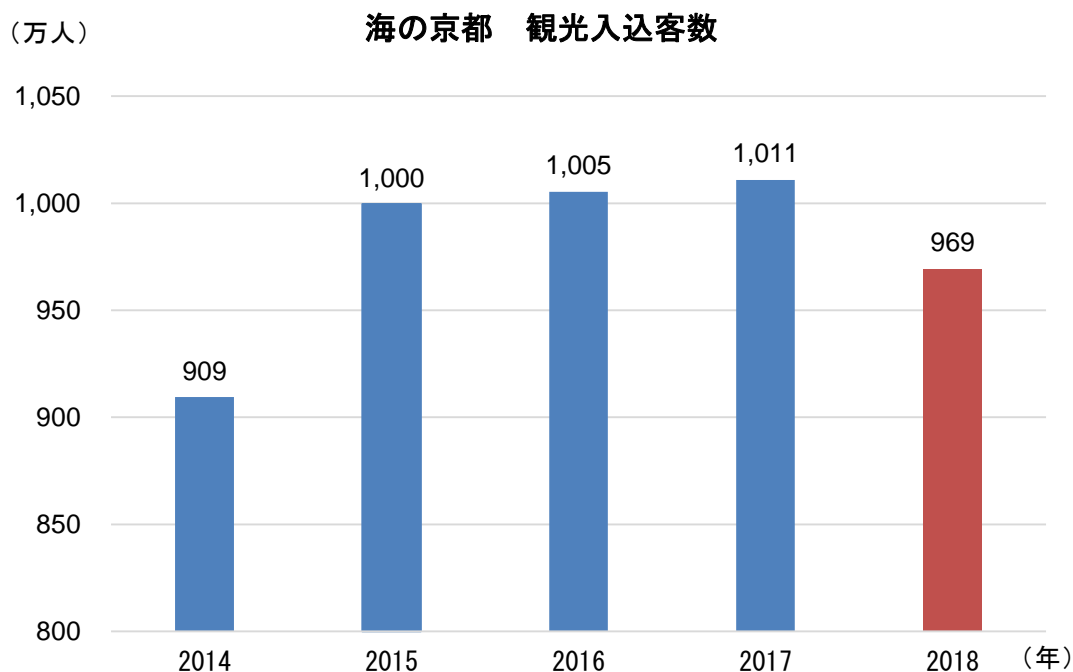
以下には、3つの京都プロジェクトに関連する指標の状況やプロジェクトの主な取組状況、今後の課題を示す。

○「海の京都」づくり（京都の海を活かした取組）

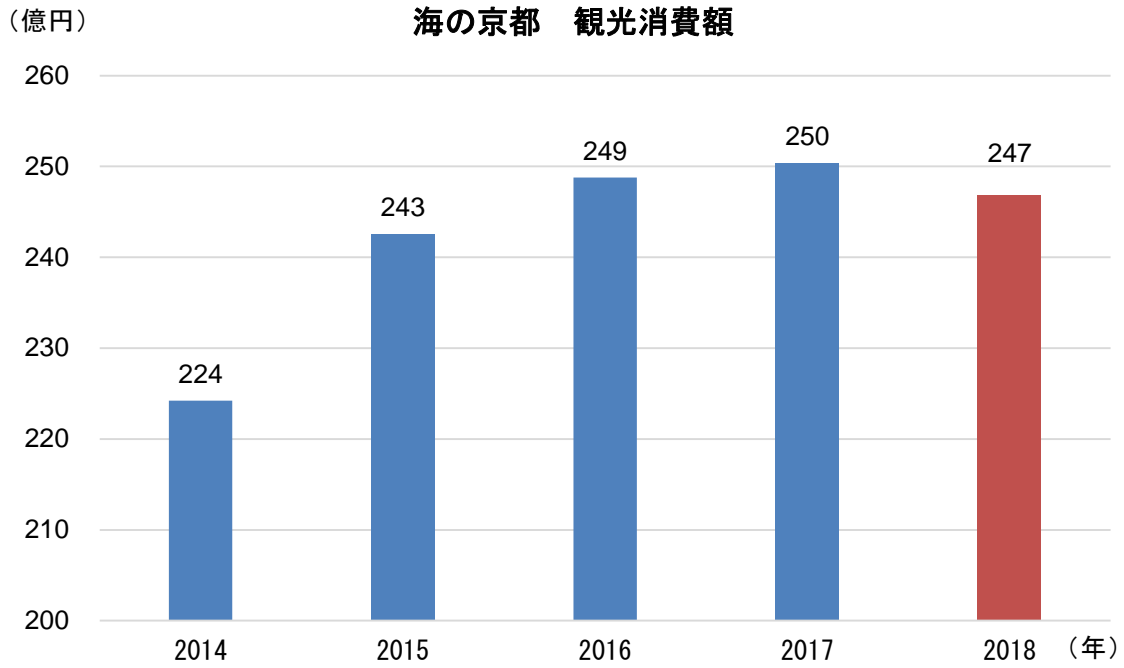
1 構想の概要

古代より大陸との交流の窓口として栄えた歴史的背景や交通基盤の整備進展を活かし、「海」というキーワードのもと、府北部地域が全国有数の競争力のある観光圏となることを目指す。

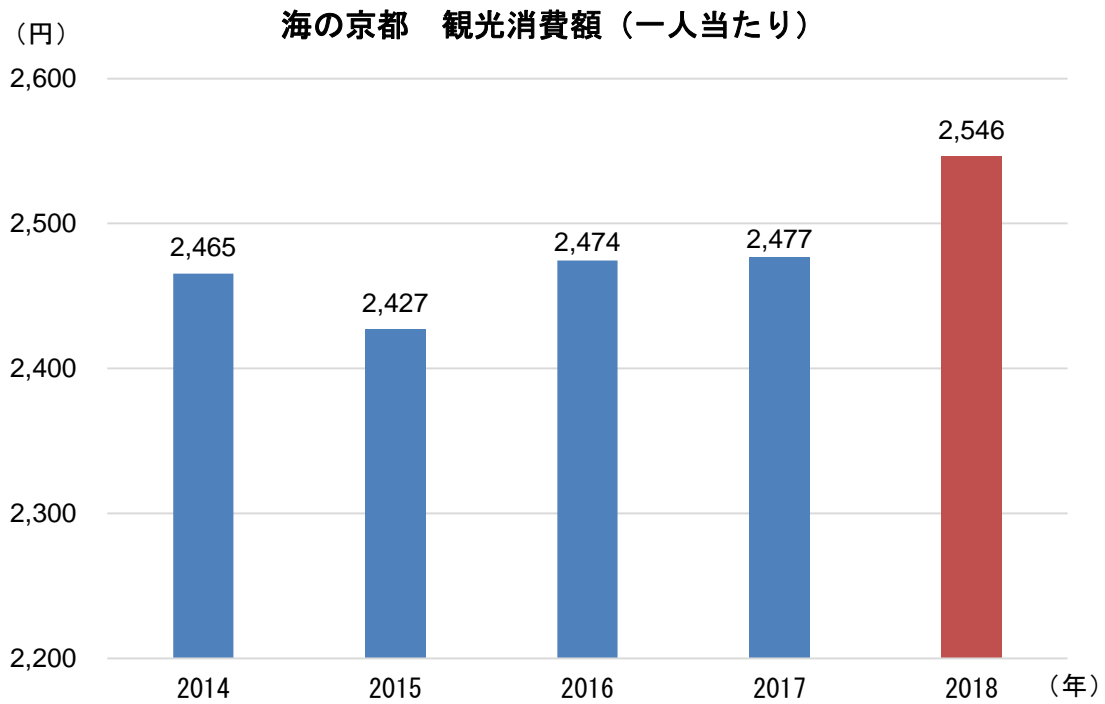
2 関連指標の状況



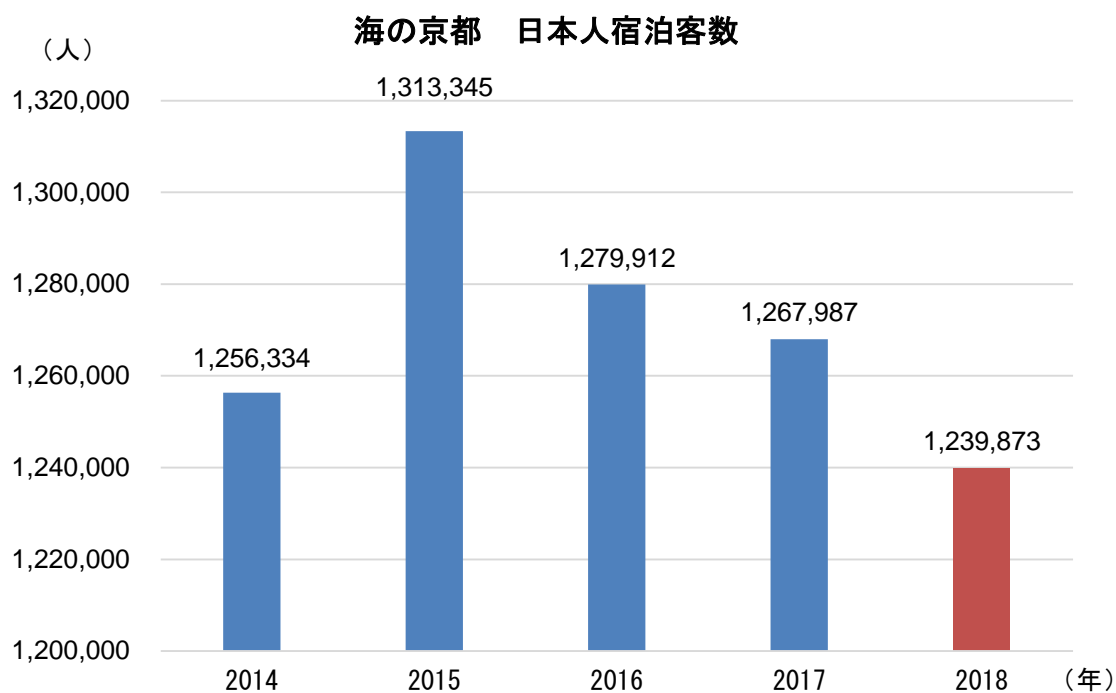
資料：2018年京都府観光入込客調査



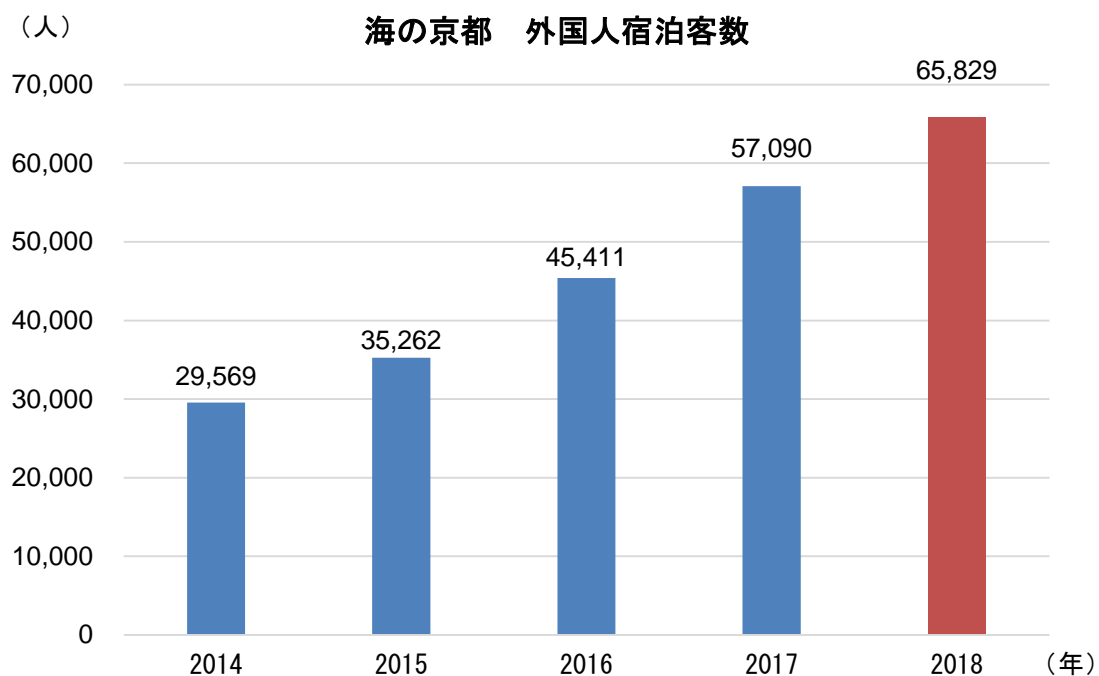
資料：2018年京都府観光入込客調査



資料：2018年京都府観光入込客調査



資料：2018年京都府観光入込客調査



資料：2018年京都府観光入込客調査

3 実施状況

① 主な取組状況

- 海の京都クルージングフェスタ「食のまちなかクルージング in 福知山」を開催（2018年10月）し、連携イベントを含め約4.7万人が来場
- 日本遺産「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」の構成文化財を活用し、地域の魅力発信等による誘客促進の取組を実施
- 農林水産省による「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」への認定（2017年12月）を活用し、訪日外国人旅行者等の誘客に向けて、受入体制の整備や人材育成等の取組を実施
- 海の京都 DMO が「海の京都インバウンド戦略計画」を策定し、訪日外国人旅行者の誘致拡大に向けプロモーション等を展開
- 京都舞鶴港に寄港するクルーズ船乗客向けツアーを海の京都 DMO が造成し、海の京都地域への周遊を促進
- 食事やちくわ等の練り製品製作体験ができる観光商業施設「宮津天橋立漁師町ととまーと」がオープン（2018年11月）

② 今後の課題

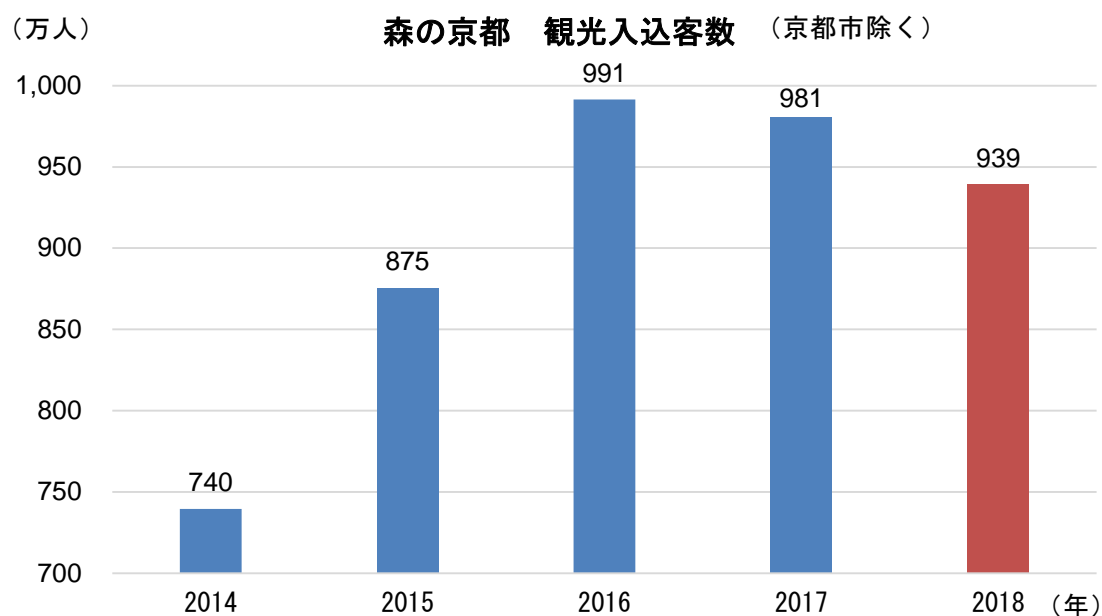
- 海の京都構想のフォローアップと充実展開
- インバウンド対策の重点的な取組
 - ・「海の京都インバウンド戦略計画」に基づくプロモーション等の展開
 - ・宿泊施設等のインバウンド受入体制の環境整備
 - ・「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」認定を活用した農山漁村部へのインバウンド誘客の推進
 - ・多言語対応ガイドの養成やキャッシュレス決済の導入支援
 - ・京都市内発の観光周遊バスの運行
- 古い街並みや古民家等を活用した多様な宿泊施設の創出
- 新たなモビリティサービスである MaaS の事業化など、二次交通確保に向けた交通事業者等との連携
- 大河ドラマ「麒麟がくる」を活用した誘客
- クルーズ客を対象にした満足度の高いオプションツアーの開発
- 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」、「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」を契機として、自然・スポーツ・家族・滞在を重点とした海の京都 DMO の取組支援
- 世界水準の DMO（先駆的インバウンド型 DMO）を目指した、海の京都 DMO におけるインバウンド推進、食や文化資源を活用した広域周遊等の取組支援

○「森の京都」づくり（奥の深い森や里山を活かした取組）

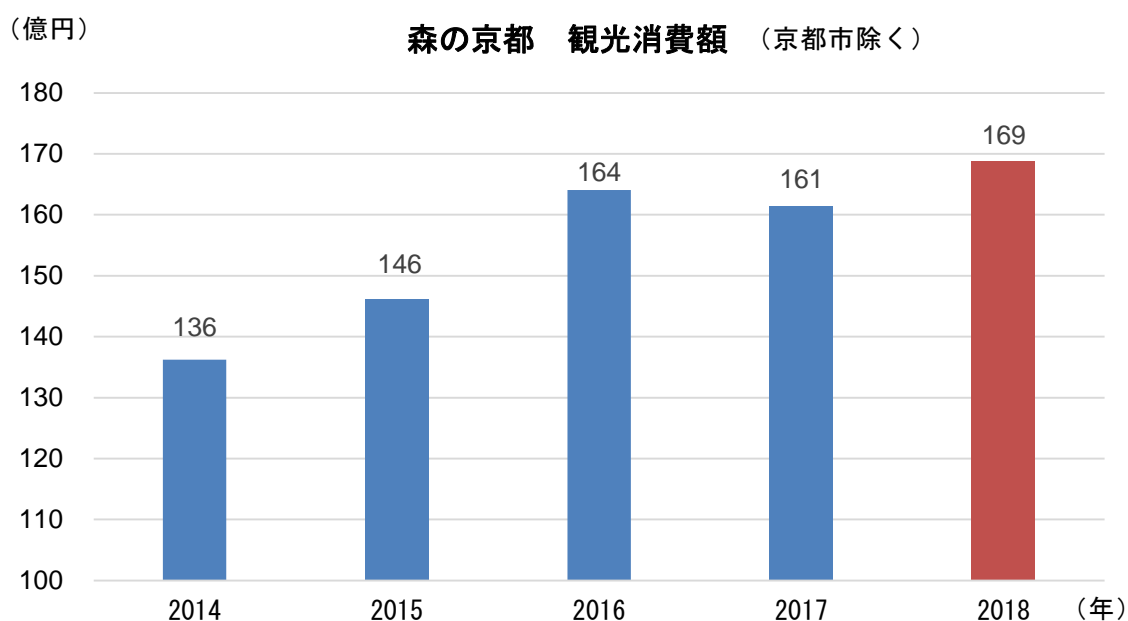
1 構想の概要

我々の生命を育む源でもある「森」をテーマにし、森・川・里の織りなす景観や環境・文化・生活を多面的な角度からとらえ未来に受け継ぐとともに、発信し、多角的に活かす地域となることを目指す。

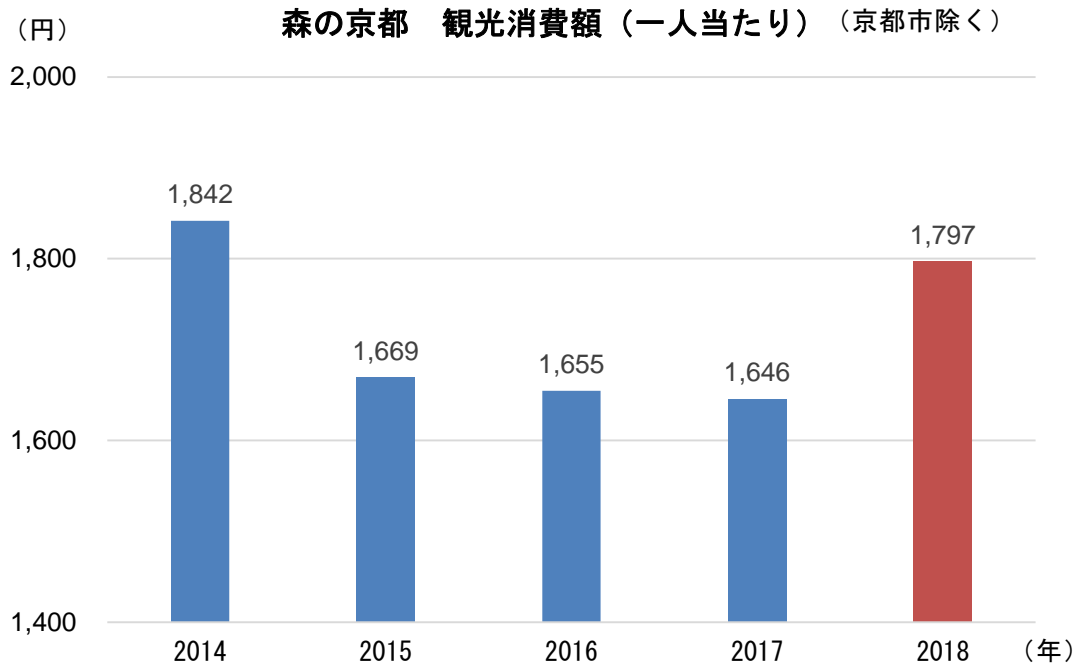
2 関連指標の状況



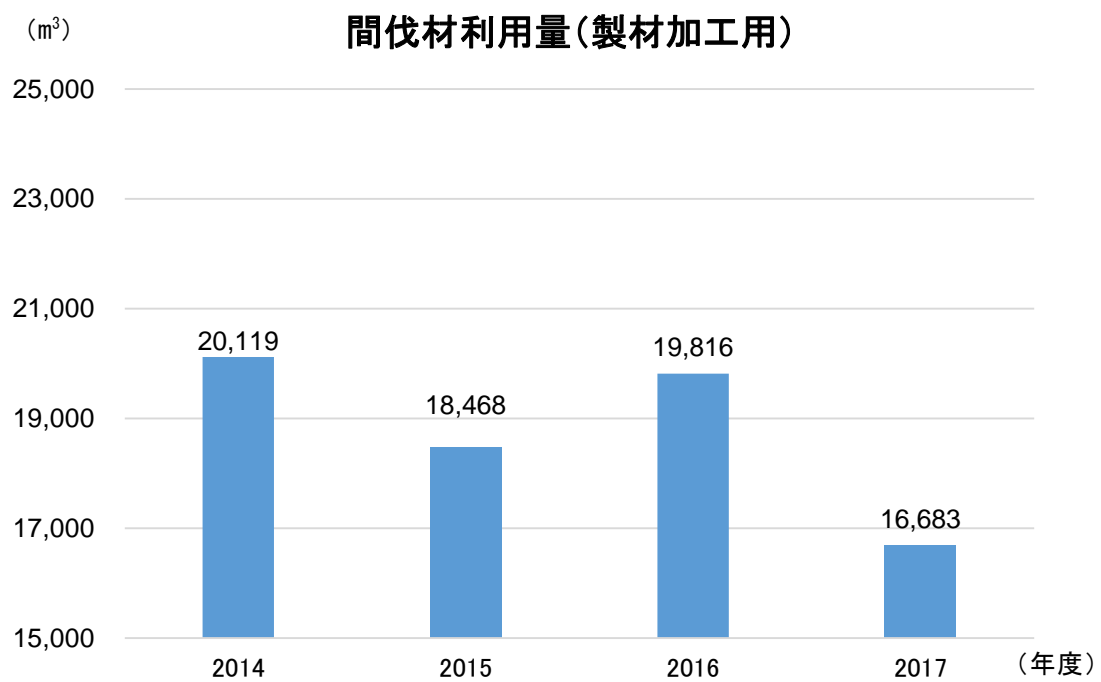
資料：2018年京都府観光入込客調査



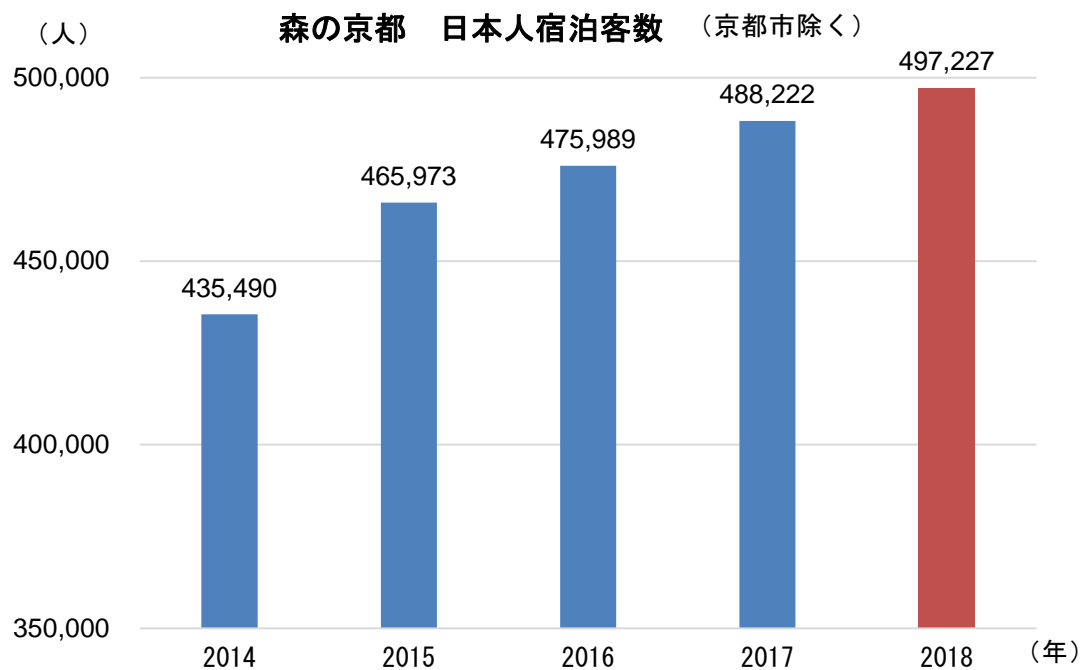
資料：2018年京都府観光入込客調査



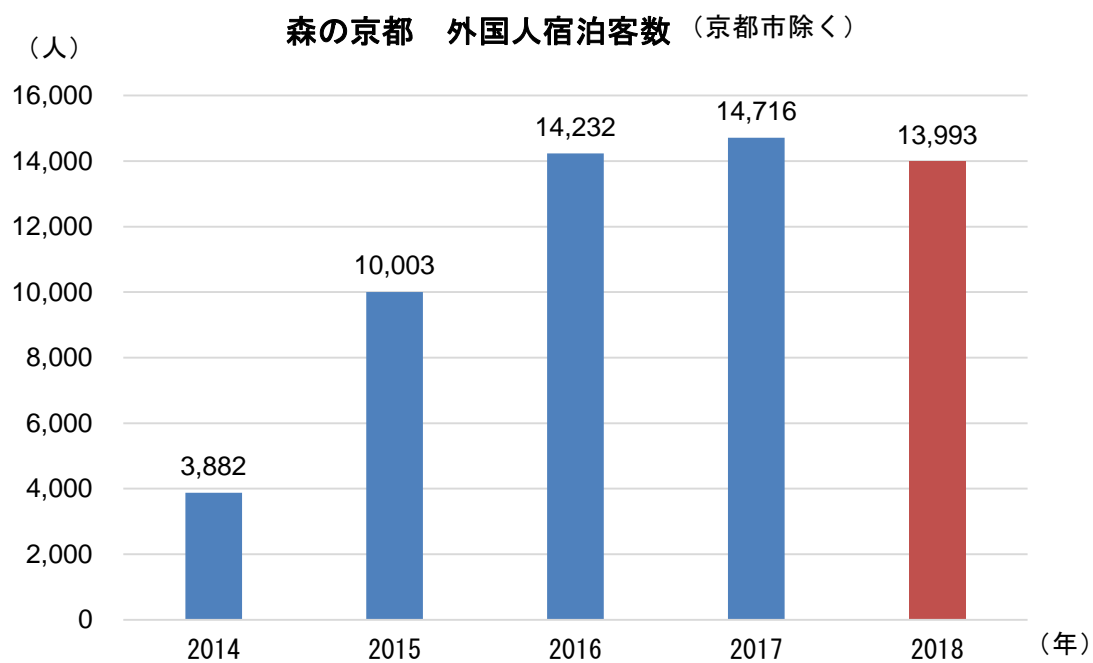
資料：2018年京都府観光入込客調査



資料：2018年度「間伐等の実績報告」（京都府林業振興課）



資料：2018年京都府観光入込客調査



資料：2018年京都府観光入込客調査

3 実施状況

① 主な取組状況

- 「森の京都ハーベスト・ガラ」を「STIHL（スチール）の森 京都（府民の森 ひよし）」で開催（2018年10月）し、メインイベント「森のレストラン」等に約1.3万人が来場
- 戦略拠点の整備
 - ・「STIHLの森 京都」リニューアルオープン（2018年4月）
 - ・「京都の森の案内所（京都丹波高原国定公園ビジターセンター）」オープン（2018年4月）
 - ・「京都の森の案内所」で超小型モビリティ（次世代電気自動車）「MIYAMOB」のレンタル開始（2018年4月）
 - ・「森のステーションかめおか」グランドオープン（2018年5月）
- 森の京都DMOが観光庁の日本版DMOに登録（2018年7月）
- 森の京都エリアが農林水産省から「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」に認定（2018年12月）され、DMOを中心に、食文化の海外発信の取組開始
- DMOが中心となり、「観光地域づくりパートナー」など地域の関係者と体験・旅行商品を開発し、京阪神地域に重点プロモーションを実施
- DMOによるスマートフォンアプリ「森の京都NAVI」の構築などを通じてエリア内周遊を促進

② 今後の課題

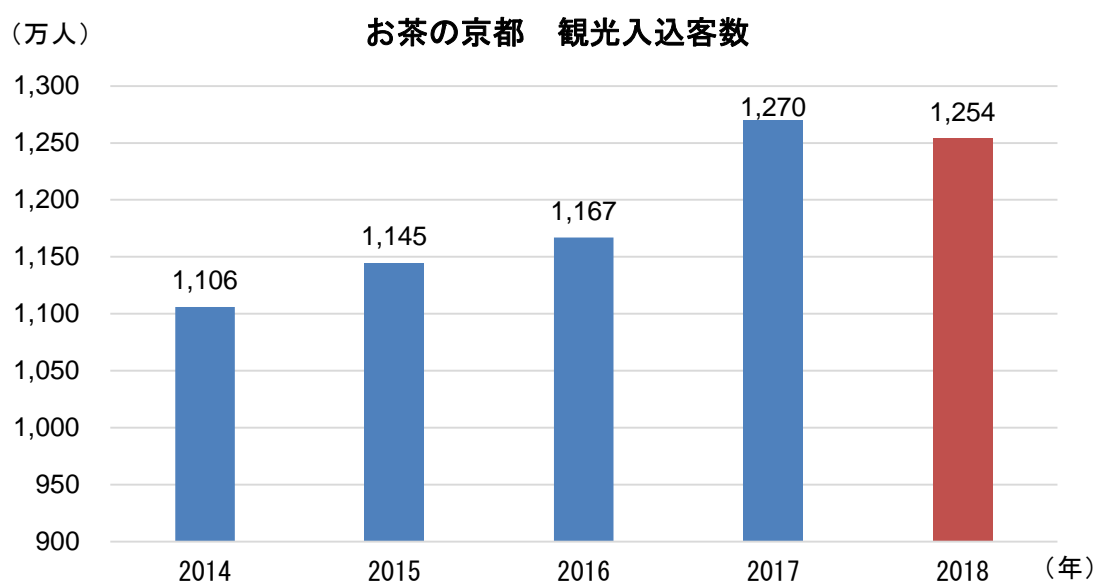
- 森の京都構想のフォローアップと充実展開
- 「森の京都」の認知度向上と地域の魅力発信
- 都を支えた豊かな森林資源、里山の自然、文化、生活、食等の森の京都の恵みを活かし、京阪神との近接性、自然体験指向の欧米豪インバウンドをターゲットとした、長期滞在・体験型プログラムの開発支援
- 古い街並みや古民家等を活用した多様な宿泊施設の創出
- 平安時代から都を支えてきた豊かな森の文化と保津川の水運文化の保存と活用をテーマにした日本遺産の認定
- 農山村教育民泊の推進
- 府立京都スタジアムを核とした広域的な観光周遊を促す取組
- 大河ドラマ「麒麟がくる」を活用した誘客
- 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」を契機として、自然・スポーツ・家族・滞在を重点とした森の京都DMOの取組の支援

○「お茶の京都」づくり（宇治茶生産の景観を活かした取組）

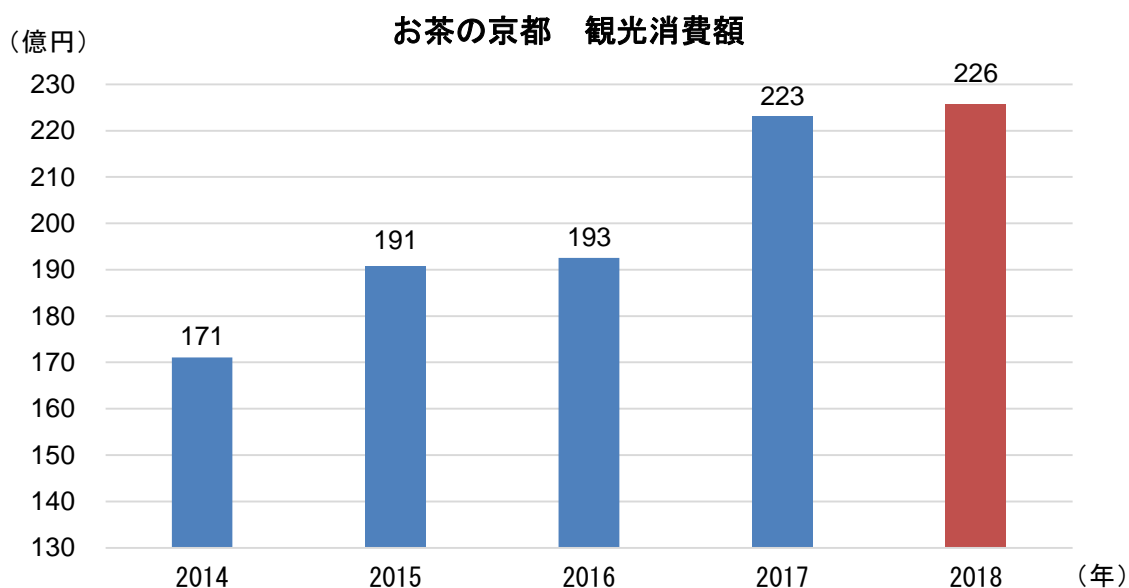
1 構想の概要

我が国で最も長い歴史を有する茶生産地であり、今なお素晴らしい景観を形成し、最高品質の緑茶を産出する地において、宇治茶をテーマに、お茶生産の美しい景観維持やお茶文化の発信等を通じ、人やものの交流が盛んな地域となることを目指す。

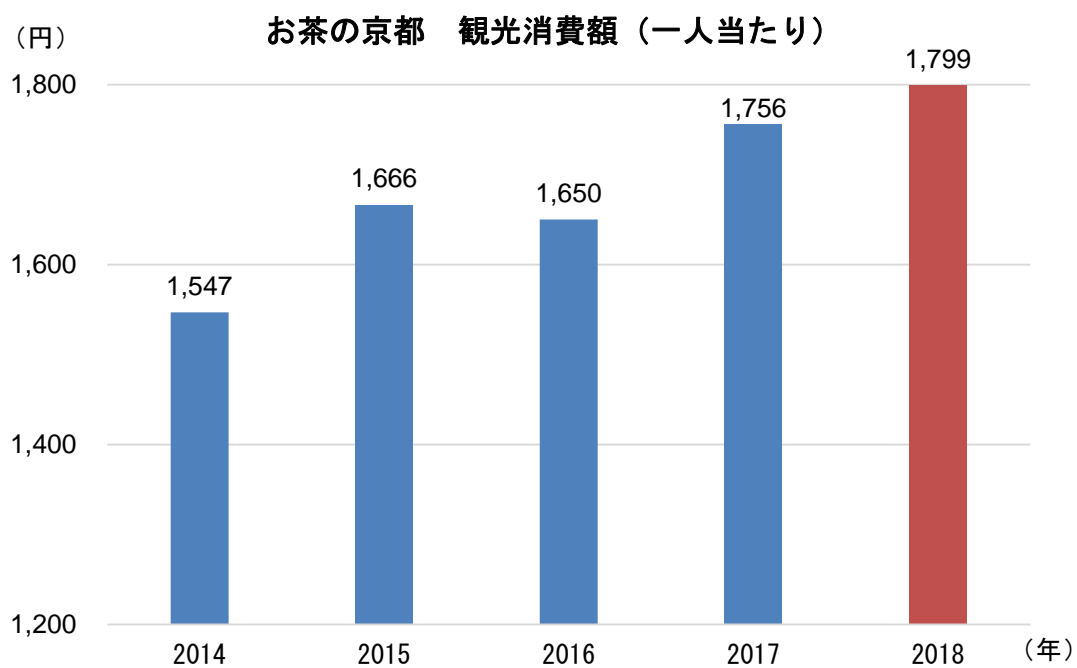
2 関連指標の状況



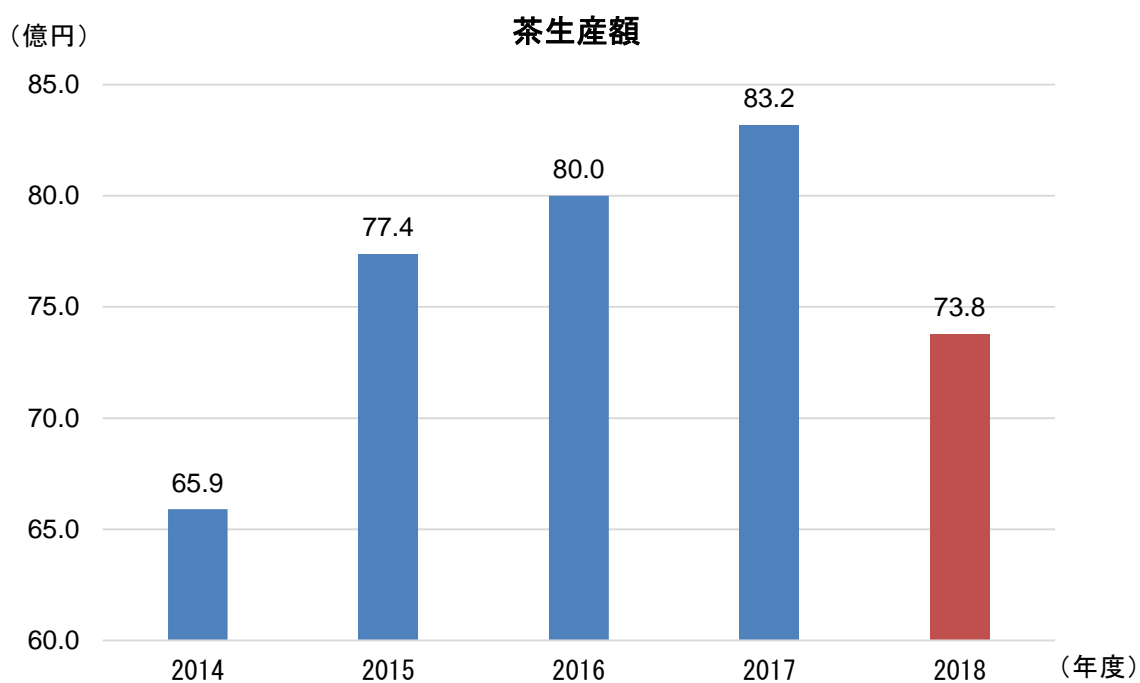
資料：2018年京都府観光入込客調査



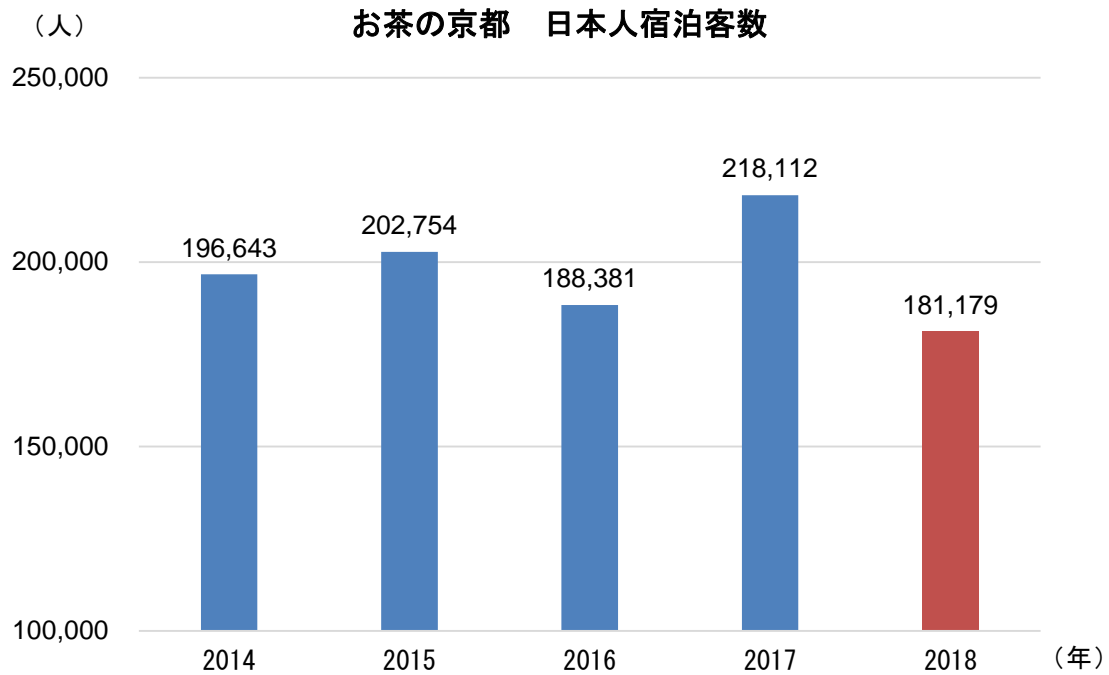
資料：2018年京都府観光入込客調査



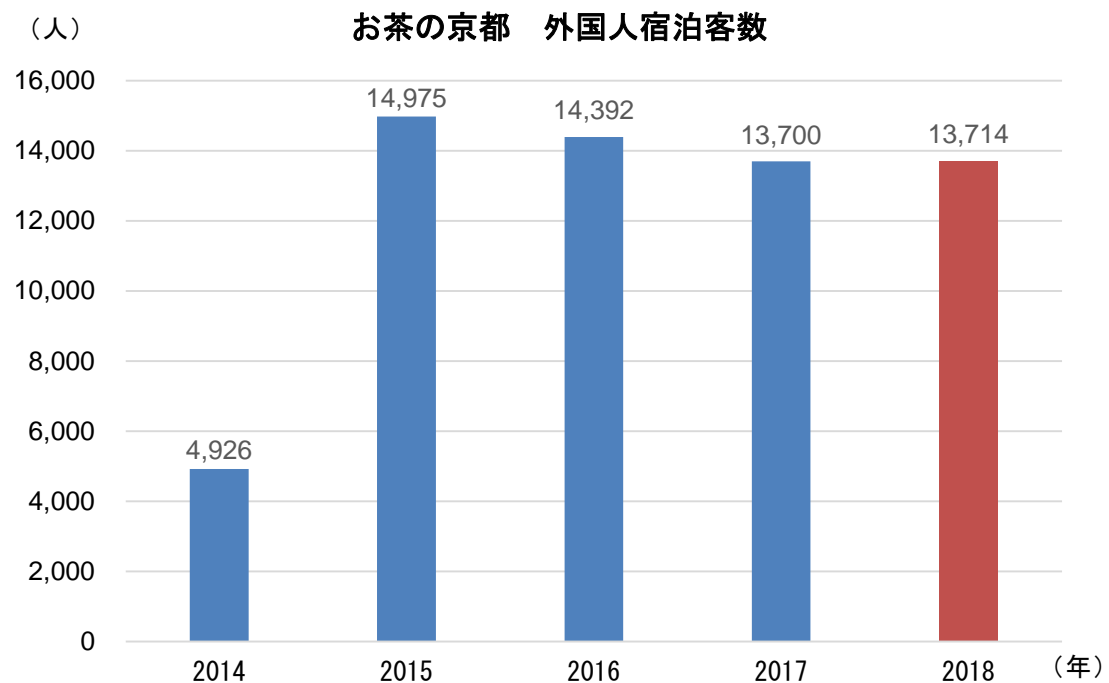
資料：2018年京都府観光入込客調査



資料：2018年度京都府茶業統計



資料：2018年京都府観光入込客調査



資料：2018年京都府観光入込客調査

3 実施状況

①主な取組状況

- 宇治田原町のお茶の京都交流拠点施設「宗円交遊庵 やんたん」オープン（2018年6月）
- お茶の京都DMOが観光庁の日本版DMOに登録（2018年7月）
- お茶の京都エリアが農林水産省から「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」に認定（2018年12月）され、DMOを中心に、食文化の海外発信の取組開始
- 宇治茶をコンセプトとした特別仕様の「宇治茶バス」の新造を支援し、2019年4月から通常の路線バスとして本格運行開始
- 一日限りの「プレミアム大茶会」を煎茶伝来の寺、萬福寺で開催（2019年3月）
- お茶の京都エリアの観光資源を活かした、着地型・体験型旅行商品の開発・造成・販売
- お茶の京都エリアの各種イベントを「お茶の京都 Premium Green Fes.」の冠事業として一体的に情報発信
- 宇治茶プレミアムブランド化の推進
 - ・フランス・パリ市内において、宇治茶プレミアム企画展やワークショップ、宇治茶サロンの開催
 - ・宇治茶愛好会『Association de the UJI』メンバーの一人であるパリの三ツ星レストラン「Astrance」のシェフによるお茶の京都の視察

②今後の課題

- お茶の京都構想のフォローアップと充実展開
- 宇治茶の歴史・文化・産業を活かし、高付加価値な地域の魅力のプロデュースに取り組み、国内外からの交流人口の拡大、宇治茶産業の振興等の促進
- 宇治茶のプレミアムブランド化事業、農産品等のブランド化の推進によるお茶の京都エリアのブランド化及びそれらの活用によるインバウンド誘客
- お茶の京都DMOを中心に、宇治茶をはじめとした地域資源を活用し、山城12市町村毎に新たな着地型・体験型旅行商品を造成・開発
- 「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」認定を活用した農家民宿等の創出
- 古い街並みや古民家等を活用した多様な宿泊施設の創出
- カーシェアリングをはじめとした周遊性を高める移動手段の充実
- 京都市をはじめ周辺地域と連携した観光誘客の取組
- 観光地域づくりのための人材育成
- 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」を契機として、自然・スポーツ・家族・滞在を重点としたお茶の京都DMOの取組の支援

京都市域主要施策・事業

京都府が京都市域において展開する主要施策・事業に係る 2018 年度の実施状況をまとめる。

I 府民安心の再構築

(1) 子育て・子育ての安心

- 妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行う「きょうと子育てピアサポートセンター」を拠点に、市町村の「子育て世代包括支援センター」での取組を支援
- 保育環境の向上のため、未就学児が利用する児童福祉施設の施設・設備整備に対する助成を実施
- 「脱ひきこもり支援センター」を中心に、ひきこもり当事者の早期把握から相談支援、社会適応訓練、自立までを一体的に支援
- 京都市や警察、学校、家庭裁判所等と連携し、非行等の問題を抱える少年をサポートする「立ち直り支援チーム（ユース・アシスト）」により少年一人ひとりに適した支援プログラムを実施

(2) 学びの安心

- 生徒一人一人の能力や個性を伸ばすため、府立高校実力テストなどにより生徒の学力・学習状況をきめ細かに把握・分析し、状況に応じた取組を実施
- 京都大学をはじめとする大学等と連携し、数学的資質の向上を図るための京都数学グランプリの実施や、国際的に活躍できる人材を育成するためのスーパーグローバルハイスクール設置事業により生徒一人一人に応じた教育を展開

(3) 働きの安心

- 人手不足が深刻な中小企業への就職・定着を促進するため、京都ジョブパークにおいて、府内大学やハローワーク等と連携し、職業適性や職場理解を促進するためのカウンセリングやインターンシップを実施するとともに、早期離職者の再就職に向けたチャレンジを支援
- 「輝く女性応援京都会議」のもと、京都労働局、府、京都市、経済団体と一体となって運営する女性活躍支援拠点「京都ウィメンズベース」により、企業における女性の活躍を重点的に支援
- 京都府労働相談所内に、学生からのアルバイトに関する相談を受け付ける「ブラックバイト相談窓口」を設置

(4) 医療・福祉の安心

- 手術待ち状態の改善を図り、府民に高度医療を提供するため、府立医科大学附属病院の手術室を増室するための改修工事を実施

- 重症重篤な母子・新生児に対しての高度医療提供体制を強化するため、京都大学医学部附属病院を総合周産期母子医療センターに指定
- 老朽化した京都府保健環境研究所及び京都市衛生環境研究所の建替えを府市協調により、共同で実施

(5) 長寿の安心

- 「京都地域包括ケア推進機構」において、多職種による在宅療養支援プロジェクト、看取り対策プロジェクト、認知症総合対策プロジェクト等5つの事業推進プロジェクトを実施するとともに、プロジェクトを実施する市町村及び地域団体等に対し支援を実施
- 在宅療養患者の生活を支援するため、多職種(かかりつけ医や訪問看護師、介護支援専門員など)が医療・介護情報を共有する在宅医療・介護情報連携システム「京あんしんネット」の利用を促進
- 市町村等と連携した健康寿命延伸対策をより強力に推進するため、地域の健康課題を分析し、PDCA サイクルに沿った効果的な事業展開を組織横断的に取り組めるよう「健康長寿・データヘルス推進プロジェクト」を設置

(6) 暮らしの安心

- 災害発生時の拠点施設としての機能を併せ持つ警察本部新庁舎の建設工事を実施
- 高齢者や子どもの見守り活動を強化し安全・安心の地域づくりを推進するため、交番相談員を配置
- 府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施設について、緊急的な安全対策を実施
- 鴨沂高等学校校舎の改築等により、安心・安全な教育環境を整備
- 鴨川、四宮川等の河川改修工事等や、花尻川、草生川等の土砂災害対策事業を実施

II 地域共生の実現

(1) 人権尊重

- 国、人権擁護委員連合会、NPO 法人等と連携・協働し、京都テルサにおいて「京都ヒューマンフェスタ 2018」を開催

(2) 地域力再生

- 京都地域カビジネス(京都ちーびず)を普及・推進するため、ちーびずを学ぶ・交流・マッチングの場としてちーびずプラザを設置
- 行政とNPOの協働推進拠点となるパートナーシップセンターに、協働コーディネーターを配置し、NPOと地域を結ぶマッチングやプラットフォーム活動等を支援
- 府民公募型インフラ保全事業を実施(府管理の道路、河川などを対象)

(3) 新たなコミュニティづくり

- 商店街創生センター職員が商店街を訪問し、商店街カルテをもとに商店街の特性に応じた施策を実施する、地域と連携したまちづくりを支援
- 「アートと交流」をテーマとした堀川団地の再生と伝統産業の新たな展開を推進するため、「堀川アート&クラフトセンター（仮称）」の整備を実施

(4) 男女共同参画

- 京都テルサ内の京都ジョブパークマザーズジョブカフェにおいて、子育てしながら働きたい女性や、ひとり親家庭の方などのニーズに応じて、子育てと就業をワンストップで支援
- 女性の起業を支援するため、「女性アントレプレナーサポートチーム」による基礎セミナーや、「中小企業応援隊」と連携した起業アイデアのブラッシュアップを実施
- ドメスティック・バイオレンスによる被害者支援や被害の未然防止を図るため、シンポジウムやグループカウンセリング等を実施

(5) ふるさと定住

- 京都移住コンシェルジュの配置や、京の田舎暮らし・ふるさとセンター(移住相談窓口)の設置により、移住希望者と受入地域のマッチング等を実施
- 野生鳥獣による農林業等の被害を防止するため、市町村の実情に応じた総合的・効果的な有害鳥獣捕獲防除施設の設置や、生息環境の整備等に対して助成を実施

Ⅲ 京都力の発揮

(1) 人づくり

- 京都の活性化を推進するため、京都に学ぶ学生たちが力を合わせ、行政・経済界・地域と幅広く連携しながら、京都の学生文化などを全国に発信する「京都学生祭典」の開催を支援
- オール京都体制で構成する「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」及び「観光産業正規雇用化促進事業」を推進
- 映画等のコンテンツ産業を対象に、若手クリエイターを京都から世界へ発信するための「京都デジタルアミューズメントアワード」を創設
- 京都の地で伝統と現代の間に生み出される次世代作家の新しい芸術展覧会である「Kyoto Art for Tomorrow 2019」を開催

(2) 環境の「みやこ」

- 国立京都国際会館において第10回「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式及び「京都環境文化学術フォーラム」国際シンポジウムを開催

- 「千年の都・鴨川清流プラン」に基づき、出水等により顕著に堆積した箇所の中州除去、納涼床の許可審査基準への適合の指導、鴨川ギャラリー事業の実施
- 鴨川公園葵地区の整備を推進

(3) 文化創造

- 文化マーケットの創出をめざし、「ARTISTS' FAIR KYOTO」と連動した企業とのコラボによる作品展示や2019年に開催する「KYOTO KOUGEI WEEK」のイベントを開催
- 府立大学の和食文化学科の開設（2019年開講）に向けた学問体系の構築や学舎として使用する旧図書館棟の改修工事を実施
- 京都コンサートホールにおいて「平成30年度全国高校生伝統文化フェスティバル」を文化庁と共同開催
- 「京都文化カプロジェクト2016-2020」において、アーツ&クラフツ「野外インスタレーション公募展」を開催
- リニューアルオープンした堂本印象美術館において特別展覧会を開催

(4) 産業革新・中小企業育成

- 府と京都市が協調して中小企業融資制度の利用促進を図り、中小企業者等の経営基盤の安定・強化、開業・経営承継を支援
- 京都経済センターの整備を推進
- 伝統産業の生産基盤を支える織物産地等における設備投資を支援
- 京都総合観光案内所での観光案内のほか、観光情報発信や、京都花灯路、京の七夕等の観光事業を府市協調で実施

(5) 交流連帯

- 鉄道駅の利便性・安全性の向上整備（阪急／京福西院駅、JR西大路駅）
- JR奈良線複線化・高速化工事の推進